

令和6年度第1回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和6年7月11日(木)
午後2時00分～午後2時54分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 石川 康委員長 濱口貞美委員 佐藤克己委員
吉岡 篤委員 渡邊みどり委員 滝本はる恵委員
齊藤日出雄委員 飯野ふみ委員 中庭 香委員
 - (2) 市側 (事務局) 小笠原生涯学習推進課長 斉藤図書館長
谷口館長代理 土肥 田中
 - (3) 傍聴人 なし

4 鎌ヶ谷市図書館協議会 議 題

「令和5年度図書館事業実績について」

石川委員長が鎌ヶ谷市図書館協議会運営規則第3条の規定により議事を進行する。

その中で、会議録署名委員は、名簿順に2人を選出、今回の会議録署名委員は中庭委員と濱口委員に決定した。

議 長 議題の「令和5年度図書館事業実績について」、事務局より説明願います。

事務局 議題の説明の前に、前回の会議でご協議いただきました「令和6年度図書館運営方針」「令和6年度事業計画」につきまして、昨年度末に内部での決裁が終了し、正式に決定されたことをご報告いたします。

決定稿は、お手元に配布しておりますので、後ほどご確認いただければと存じます

それでは、議題の説明に移らせていただきます。

議題「令和5年度図書館事業実績について」資料に基づき説明

- 議 長 　ただ今の説明を受けて、ご意見、ご質問があればお願いします。
- 委 員 　朗読会でボランティアの参加があったようだが、どのような団体が参加したのか。
- 事務局 　健康増進課のボランティアで「パタカラーズ」というグループには、発声の練習、顔体操等を担当していただきました。もう一つのグループ「レインボー」には、活舌を良くする練習を担当していただきました。
- 委 員 　3点伺う。1点目が「リサイクルブックフェア」の来館者数と配布冊数について、昨年度と比較して増減は。
- 事務局 　来館者数が655名から890名に増えました。配布した本の冊数では5,043冊から5,978冊に増加しています。
- 委 員 　2点目は「子ども司書養成講座」で、講座終了後に学校での活動に活かされたのか。実際に二学期以降の動きはあったか。
- 事務局 　学校に戻っての活動として、学校司書の先生方の協力のもとお薦め本のポップを作成していただいております。
- 年度末には、そのポップをお借りして市立図書館で展示させていただきました。
- 委 員 　非常に良い試みで、ぜひ続けていただきたい。
- 3点目ですが、「小学生図書館利用者カード配布事業」の成果が770名への配布で11名の登録は少なすぎないか。
- 事務局 　新1年生になる以前に登録されている場合、配布した申請書を使用せず、図書館備え付けの用紙で申請するなど様々な理由が考えられます。事業の成果として分かりやすくするため表現方法を工夫したいと思います。
- 委 員 　図書の寄贈について、広報での周知やポスター・チラシなどの掲示など、どのような形で寄贈本を募っているのか。
- 事務局 　図書館から寄贈を募るためのPRは行っていません。
- 例えば、百科事典の寄贈に関して言いますと装丁は立派だが時代による内容の変化、スペースの問題など寄贈を受けるのが難しい場合もございます。
- 議 長 　せっかく寄贈を受けても、活用できなければ何らかの形で処理する必要が生じてしまう。
- 委 員 　学校で百科事典の寄贈を受けても、内容が古くて活用ができない。冊数が多くてスペースも必要。その処理に苦慮している事例も聞いている。
- 委 員 　今年も「子ども司書養成講座」は人気があり、倍率が高かった。

リクエストとして、中学生まで拡大して実施することはできないか。小学生よりも、より踏み込んだ活動ができるのでは。

事務局 本事業を始める前に、中学校の校長先生方と話し合いの場を持たせていただいたのですが、その時のお話では中学校は現時点では過密スケジュールで、新たな事業を組み入れるには課題があるとのお話でした。

当初は、小学校・中学校を視野に入れた事業の組立てを考慮しておりましたが、それぞれの事情もありますことから現時点では足並みをそろえることが困難であると思います。

この事業は図書館、学校、学校教育課が同じ方向を向いて一体となって進めることが必要ですので、小学校における「子ども司書養成講座」の実績が認知されることにより中学校まで拡大することが事業の成果につながるものと思っております。

議長 希望に応じて、上級・中級・初級といった段階に応じた講座を設けてみても良いのでは。また、各校の選抜という形ではなく、本来は希望する子どもが受講できる条件を整えることができれば、より深い学びが得られるのではないか。

委員 対象は図書委員と決まっているのか。

議長 指定されているわけではなく、学校側の判断となる。

委員 選抜の方法も含めて検討してもらいたい。この事業によって将来的に本好きの若者が増えてくると良い。

委員 小中学校図書館担当者会議のなかで出てきた課題は。

事務局 図書学校配達の利用について、共通理解が得られていないため、利用される学校は年間計画を建てて活用していますが、まったく利用されない学校もありますので、共通認識を持って利用いただければと考えています。

委員 会議に参加するのは何名いるのか。

事務局 小・中学校をあわせて28名でございます。

委員 小学校と中学校の差を感じたことはあるか。

事務局 特段、差を感じたことはございません。

委員 障がい者等への図書資料郵送・宅配サービスの実績、郵送5件と宅配12件は多いのか少ないのか。

また、赤ちゃんの登録では読書手帳など39セットの配布が多いのか少ないのか、内容を伺う。

事務局 障がい者等への図書資料郵送・宅配サービスの、登録者は10名おられます。令和2年度から事業が開始されていますが、令和

5年度の実績は少なく、まだまだPR不足であり今後の掘り起こしが必要であると考えております。

また、赤ちゃんの登録では、図書館で主催する「読み聞かせ」に参加していただいた方々に配布しているもので、数字的には充分ではないと思いますが、様々な機会をとらえてPRを実施することにより実績を上げていきたいと考えます。

委員 ボランティアとしてブックスタートの活動をしている。そのなかで赤ちゃんセットの宣伝をしているが、図書館に来館しないと受け取れないということを、もっとがんばって宣伝していこうと思う。

議長 議題については、以上でよろしいでしょうか。

それでは、「その他」ということで何かございますか。

事務局 昨年度に引き続き、先進図書館の視察研修を実施したいと考えております。

事務局案としては、今の会議でも取り上げられました、今後の障がい者サービスの充実を図っていくためにも、本市で本事業を開始するにあたって、参考にさせていただいた「我孫子市民図書館アピスタ本館」を候補地としております。

あくまで事務局案ですので、委員の皆様から視察候補地の推薦がございましたら、視察のテーマと視察先の図書館について、メール又はお電話でも結構ですので、7月中にご一報をお願いいたします。

なお、視察の時期は10月21日の月曜日から25日金曜日までの間の1日を考えております。

視察先を決定し、交渉のうえ了解が得られましたら、9月中に通知を発送しご連絡する予定です。

よろしく願いいたします。

議長 それでは、本日の会議を終了します。

次回の図書館協議会の開催は、11月12日火曜日から15日金曜日または11月18日月曜日から20日水曜日までのどこか1日で実施したいと考えております。

日程等の調整が整い次第、委員の皆様にご連絡いたしますので、よろしく願いします。

事務局においては、開催日の1か月前までに通知を発送できるよう準備をお願いします。

それでは、以上をもちまして、本日の図書館協議会を閉会いた

します。皆様お疲れ様でした。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和 6 年 8 月 26 日

署名人 中庭 香 印

署名人 濱口 貞美 印